

●市民記者が行く——市の防災体制 災害に備える



東日本大震災では、蓮沼・成東地域を中心におよそ4千人が避難しました。市はこれを機に津波対策、防災物資の備蓄など防災対策を大幅に見直しました。市の防災体制の現状を紹介します。

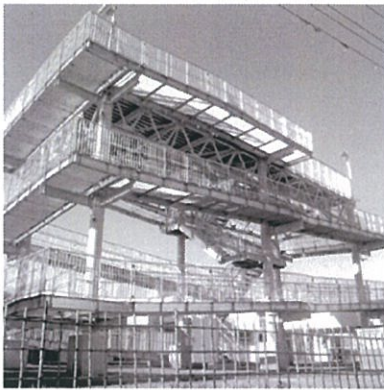
津波対策

・避難道路の整備

災害時に塀の倒壊や放置車両等が発生した場合でも緊急車両の進路を確保できるよう、海岸から内陸に向かう避難道路の整備が進められています。

・民間との避難ビル提携

従来の学校などの指定避難所の



●木戸川河口付近の高さ10mの津波避難タワー

ほか、シーサイドホテル九十九里(本須賀)、エクセシオール山武(本須賀)、ホテル浪川荘(南浜)など海岸付近の民間施設と提携し、津波の際の一時避難場所として利用できるようになりました。

・学校への避難用階段設置

海岸に近い緑海小学校、蓮沼中学校の2カ所に、外階段を設置し、建物外から屋上まで避難できるようにしています。

・津波避難タワーの設置

木戸川河口付近の青松苑・光洋苑の敷地内に、高さ10mの津波避難タワーを2基設置し、津波の際に避難可能としています。

なお、同地区の木戸川両岸は大きな津波被害を受けましたが、今年度末を目標に、堤防のかさ上げ工事が進められています。

また、蓮沼出張所跡地には、地域コミュニティの活動拠点などを有した5階建ての津波避難施設が建設される予定です(平成29年度完工予定)。

市防災備蓄物資など

避難所の備品・食料については、東日本大震災以後、市内の小中学校など25カ所に備蓄倉庫を設置し、非常食(アルファ米、パンの缶詰、保存水、ビスケットなど)や生活必需品(救急箱、簡易トイレ、紙おむつ、粉ミルク、カセットコンロなど)を備蓄をしています。ほかに市では、発電機、ストーブなどの災害用機材も確保しています。

その他、海岸地域への海拔表示板の設置やハザードマップを作成し各世帯に配布しました。また、河川の洪水対策として、作田川日向橋付近に河川監視カメラを設置しています。

避難所の食糧の備蓄は全部で1万2千食(2千人の3日間分)で地域防災計画の目標に達しています。しかし、避難生活が長期化した場合、応援物資に頼らざるを得

家庭内備蓄の目安	
水	飲料用として1人1日3ℓが目安
米	2kgの米は、1食=0.5合(75g)として27食分
缶詰・レトルト食品	栄養のバランスを考えて、数日間食べても飽きないよう数種類を備えましょう
その他	カセットコンロ・ボンベ(1日分1~2本)、アルファ米、乾燥麺、カップ麺、チョコレートやお菓子、梅干し、みそ、しょうゆなど

ません。各家庭でも災害に備えた食料や非常用機材などの装備が望まれます。



●成東総合運動公園に設置されたサンプルの木造防災備蓄倉庫

家庭での防災対策も

水や食料は最低3日分が目安とされます。日常の食料を多少多めに常備し消費しながら備蓄する方法(ローリングストック法)も有効な手段です。自動車のガソリンについても給油灯が点灯してからではなく、例えば残りが半分になったら給油するとか、ちょっとした普段の心がけで災害時に慌てずにすみます。

防災月間の9月。市や地区の自主防災組織が実施する避難訓練や防災講演会に積極的に参加し、一人一人の防災意識を高めることが大切です。

この機会に非常時のための備蓄や防災の心構えをもう一度家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

こめ しゅうかく
お米の収穫



千葉大学の学生が地域キャラクターが果たす役割を研究テーマとして掲載しています。

【作者】千葉大学 デザイン文化計画研究室

文化会館催し物

会場 成東文化会館 ☎0475(82)5222
さんぶの森文化ホール ☎0475(80)9700

サロンコンサートvol.173
ル リアン イブニングコンサート

出演 ル リアン
日時 9月16日(金) 開演19:00
場所 成東文化会館のぎくプラザ
エントランスホール

入場料 全席自由 1,000円
コンサート会場で知り合った3人が2015年10月に結成。

グループ名の「ル リアン」はフランス語で、人との繋がり、縁・絆を大切に、素敵な出会いがありますようにとの願いが込められている。



青山真子



宗形彩



森原栄子

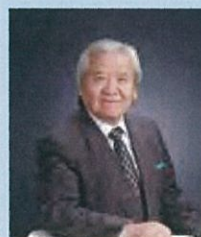
さんぶの森ふれあいコンサートVol.7
歌声とピアノで綴る「うた物語」

日時 9月24日(土) 開演14:30
場所 さんぶの森文化ホール
入場料 無料

音楽をもっと身近に・・・
お子様から大人までお楽しみいただける「うた物語」をお届けします。
お気軽にお越しください。



尾形晃子



秋山 健



武田真弓